

# 新城設楽普及だより

令和2年 新春号



新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546 FAX: 0536-62-1533

新城駐在室 新城市石名号20-1

TEL: 0536-23-2172 FAX: 0536-23-6010

メール(共通) shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp



課長  
箕浦 正人

新年あけましておめでとうございます。

平素は協同農業普及事業の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は県内で発生したCSF(豚コレラ)、台風、11月には雹害と、災害に見舞われた年でした。一方で夏秋トマト、イチゴ等、当地域の主要な作物の担い手として新たに参入する青年がみられるなど明るい一年でもありました。

農業改良普及課では新城・北設地域農業の持続的発展に向け、令和2年度を目標とする「普及指導基本計画」に基づき、担い手の確保・育成、基幹経営体の育成等の活動を進めてまいります。皆様方の御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 本年度 新規認定三士のご紹介

令和元年12月12日(木)に、愛知県庁にて、農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士の認定式が開催されました。愛知県全体で85名、新城設楽地域からは3名の方々が、地域の推進役となる農業者として大村愛知県知事の認定を受けました。

- ・農業経営士 大橋 明弘さん (設楽町・施設野菜(トマト))
- ・農村生活アドバイザー 夏目 朱美さん (新城市・水田作(稲))
- ・青年農業士 森田 泰史さん (東栄町・養鶏)



大橋さん



夏目さん



森田さん

## ＊ 関谷醸造株式会社がGLOBAL G.A.P.認証を取得 ＊

関谷醸造株式会社は、元治元年（1864年）に設楽町で創業した造り酒屋で、いまでは日本酒の原料米生産から加工・販売を行っています。平成17年から水稻栽培を開始し、令和元年は約27haの経営面積で「夢山水」、「チヨニシキ」を中心に栽培しています。

GLOBAL G.A.P.認証取得に向け、平成30年4月からコンサルティング会社による定期的な指導を受けていました。農業改良普及課は、GAP取組項目に関する指導及び技術資料提供等の支援を行ってきました。米作りに関してGLOBAL G.A.P.認証を取得したことで、海外へ日本酒を供給する足掛かりが確固たるものになりました。農業改良普及課は、関谷醸造株式会社が地域水田の担い手として、今後も経営面積を拡大する中、地域ブランドとして「安全・安心な米作り」を継続できるようにGAP取組への支援していきます。



現地審査の様子（手前：審査員）

### 自然薯(ジネンジョ)新規栽培者募集中！

JA愛知東作手自然薯部会は、現在、21名の部会員が所属し、新城市作手地区内で自然薯を栽培しています。

昭和59年に設立した部会は、長年良品生産に取り組み、作手ブランドとして品質・食味ともに好評を得ていますが、近年、部会員の高齢化が進んでおり、今後の産地維持が課題となっています。

新たな担い手確保のため、部会役員が中心となり、関係機関も一体となって、新規栽培者を募集する取組を始めることとなりました。募集は、作手地区のJA組合員を対象に行い、新城市作手地区で10月に開催された説明会には、2名の参加がありました。2名とも栽培について前向きに検討することとなりました。



説明会の様子

### 農業系高校の生徒が専業農家から経営を学ぶ ～緑の学園研修～

9月12日に新城東高等学校作手校舎（23名）、17日に田口高等学校（13名）の生徒が、近隣で営農している若手農家やリーダー農家のほ場を訪問し、施設を見学しながら農業経営にまつわる話を拝聴するという研修会を開催しました。

今回協力いただいた農家さんは、次の方々です。  
【鈴木雅貴さん（ハウレンソウ経営：4Hクラブ）、生田智美さん（ミニトマト経営）、後藤敬さん（夏秋トマト経営：農業経営士）、氏原ゆりさん（鉢花経営：農村生活アドバイザー）】

就農に至った経緯、農業経営をする上での苦労話やどんなときに喜びを感じるかなどのお話を生徒らは熱心に聞き入っていました。

参加した生徒からは、農家さんの暮らしや思いが分かって勉強になった、いつか農業に携わることがあるかもしれないとの感想が聞かれました。



農家さんの話を熱心に聞く生徒さん